

■現在の利用している教育・保育と幼児教育・保育の無償化が実施された場合の利用意向について

⑦ 幼児教育・保育の無償化について（就学前：問12、問12-1）

【調査結果】

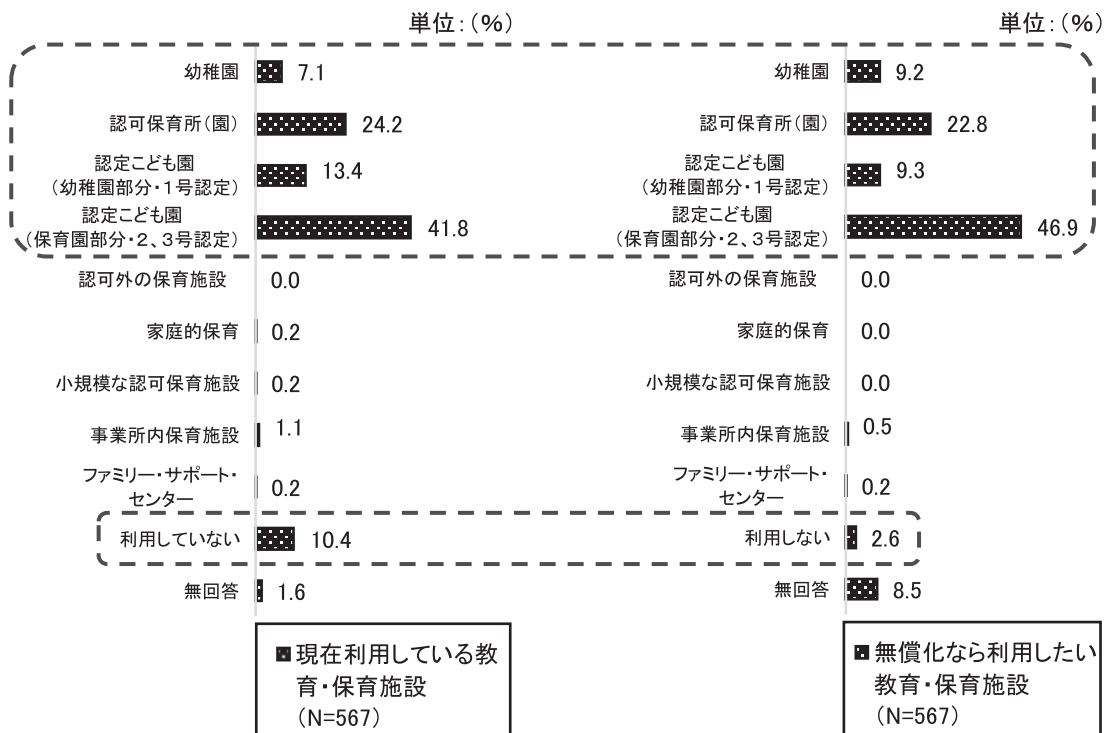
●現在利用している教育・保育施設と無償化の影響を比較すると、無償化された場合、特に「幼稚園」「認定こども園（保育園部分・2、3号認定）」の割合が増加している一方、「利用しない」の割合が減少していることから、現在利用していない方が、無償化後に教育・保育施設を利用する割合が増加する可能性があります。

本市では、国に先行して2019（平成31）年4月より幼児教育・保育を無償化しています。国の無償化の対象外となる2号認定子どもの副食費についても、国東市独自の事業として無償としていきます。

【調査結果からみえてくる検討課題】

無償化により、特に幼稚園、認定こども園（保育園部分・2、3号認定）の利用が増加する可能性があります。また、無償化の影響により「現在、教育・保育施設を利用していない方」の利用も今後見込まれることから、無償化の影響を勘案する必要があります。

■無償化への影響（今回 H30 調査）



■宛名のお子さんの病気の際の対応について

⑧病児・病後児保育の利用希望について（就学前：問10-5-1、小学生：問10-1）

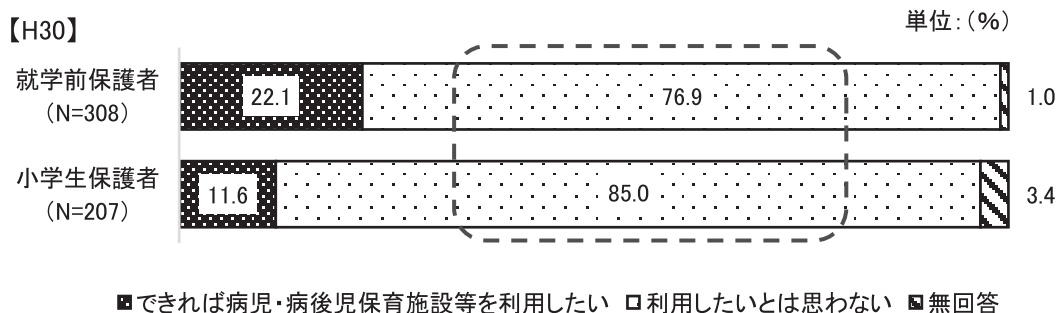
【調査結果】

- この1年間にお子さんの病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかった方の中で、「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方で、その際に「できれば病児・病後児保育を利用したいとは思わない」と回答した割合は、就学前保護者で7割以上、小学生保護者では8割以上となっています。
- 前回H25と比較すると、就学前保護者、小学生保護者ともに「利用したいとは思わない」の割合は増加しています。

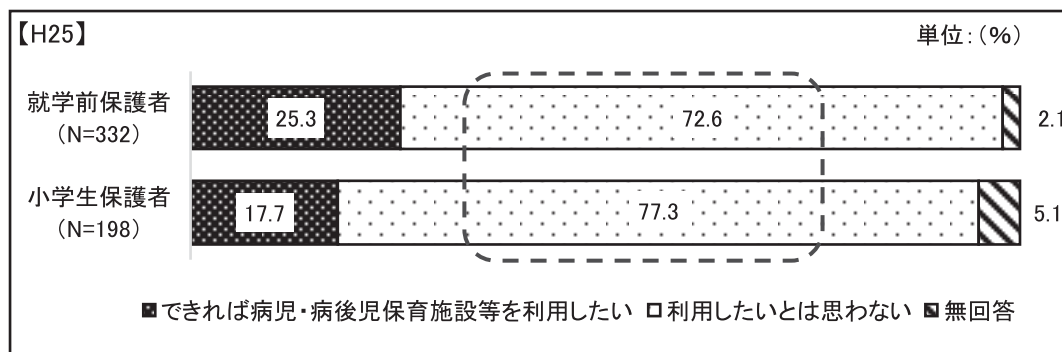
【調査結果からみえてくる検討課題】

病児・病後児保育については、必要としている方に対する不安を軽減するため、事業内容の周知をさらに進める必要があります。

■病児・病後児保育を利用したいかと思ったか（今回 H30 調査）



■病児・病後児保育を利用したいかと思ったか（前回 H25 調査）



⑨病児・病後児保育を利用しない理由（就学前：問10-5-3、小学生：問10-1-2）

【調査結果】

- 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由について、就学前保護者、小学生保護者ともに、「親が仕事を休んで対応する」「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」「利用料がかかる・高い」の割合が高くなっています。
- 前回H25と比較すると、就学前保護者、小学生保護者ともに「親が仕事を休んで対応する」の割合が大きく増加しています。

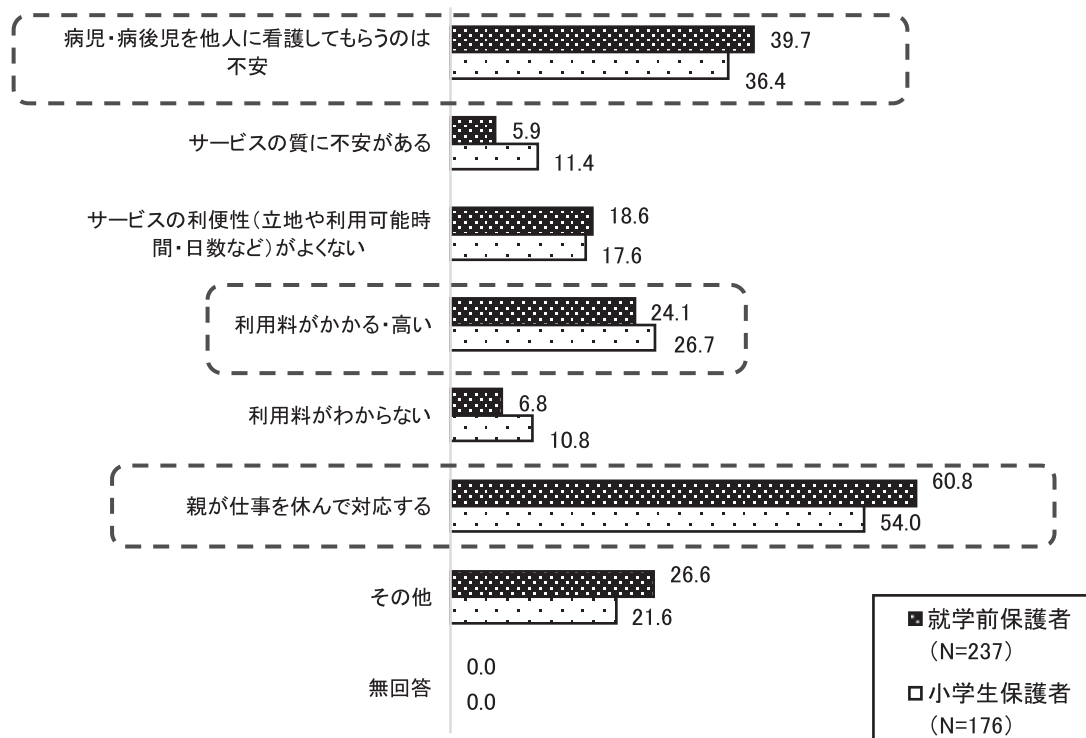
【調査結果からみえてくる検討課題】

病児・病後児保育を利用したいと思わない理由の1つに「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」があることから、利用方法や施設側の体制に対する周知を進めるとともに、手続き等の負担軽減をさらに図る必要があります。

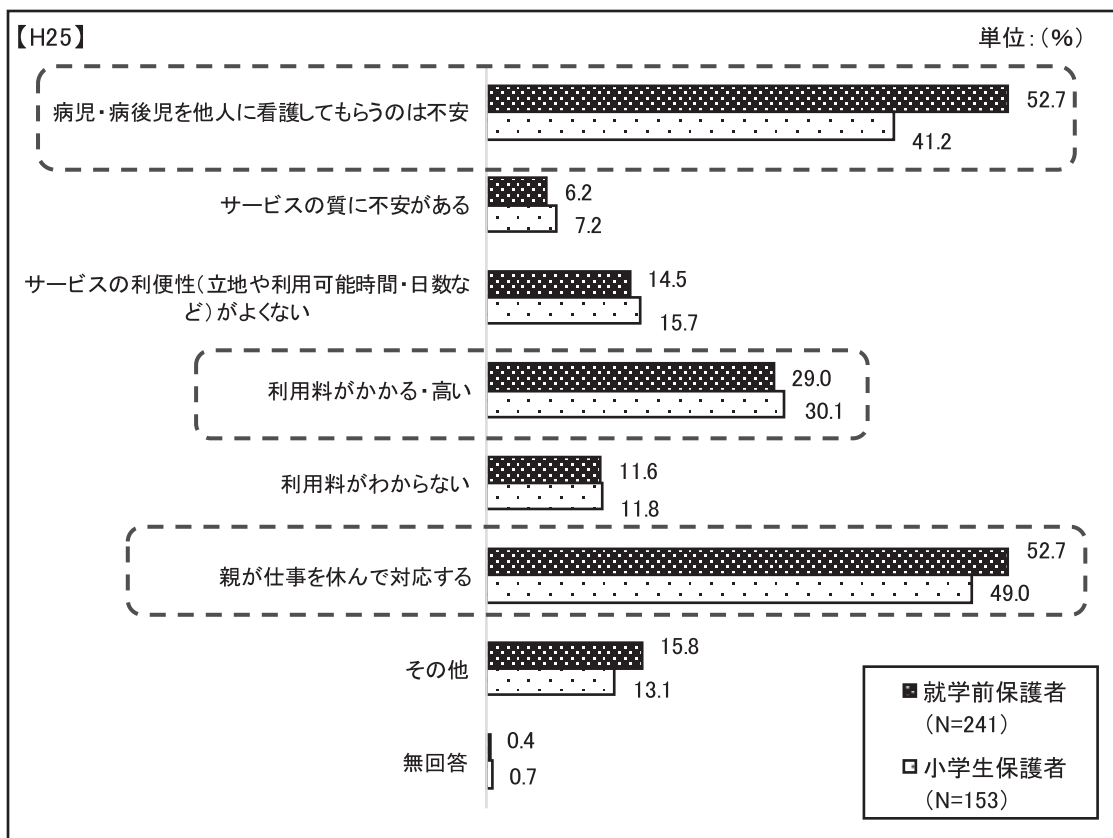
■病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（今回 H30 調査）※複数回答

【H30】

単位：（％）



■病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由（前回 H25 調査）※複数回答



■宛名のお子さんの不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

⑩ 不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等を利用しない理由について（就学前：問17-1）

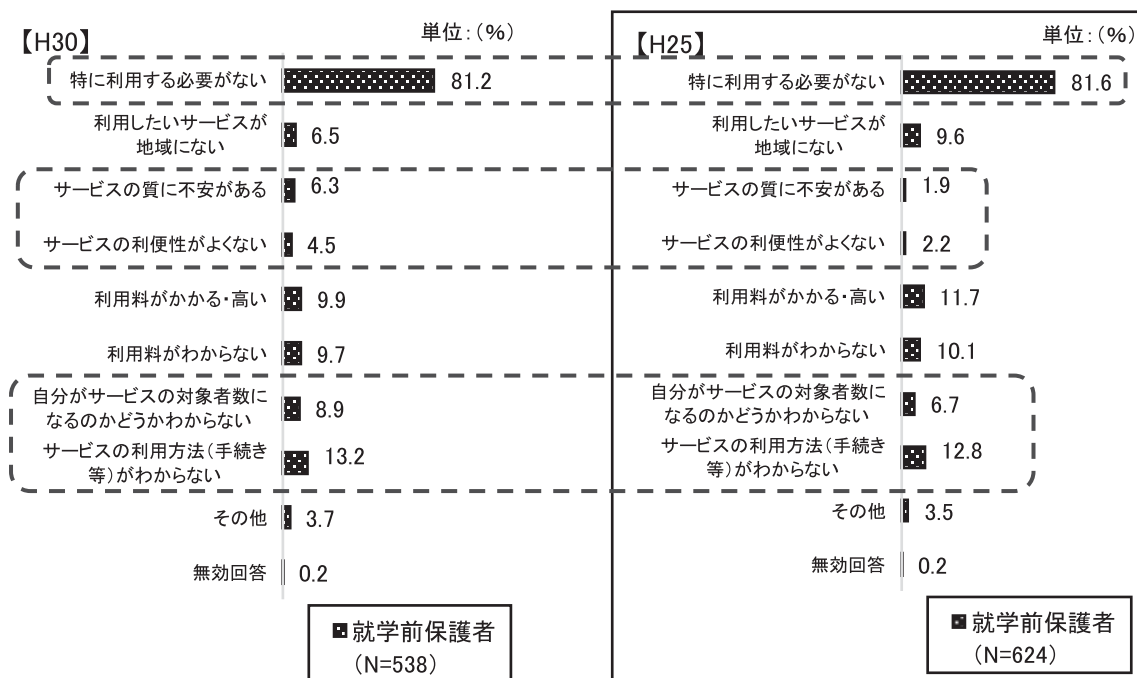
【調査結果】

●就学前保護者の不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等を利用しない理由について、前回H25と同様に「特に利用する必要がない」の割合が最も高くなっていますが、「自分がサービスの対象者数になるのかどうか分からない」「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」の割合も増加しています。

【調査結果からみえてくる検討課題】

不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等を必要としている方のニーズを把握し、利用方法等の周知を図る必要があります。

■不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等を利用しない理由  
（今回 H30 調査）（前回 H25 調査）※複数回答



■宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

① 平日の放課後の過ごし方について（就学前：問21、小学生：問11）

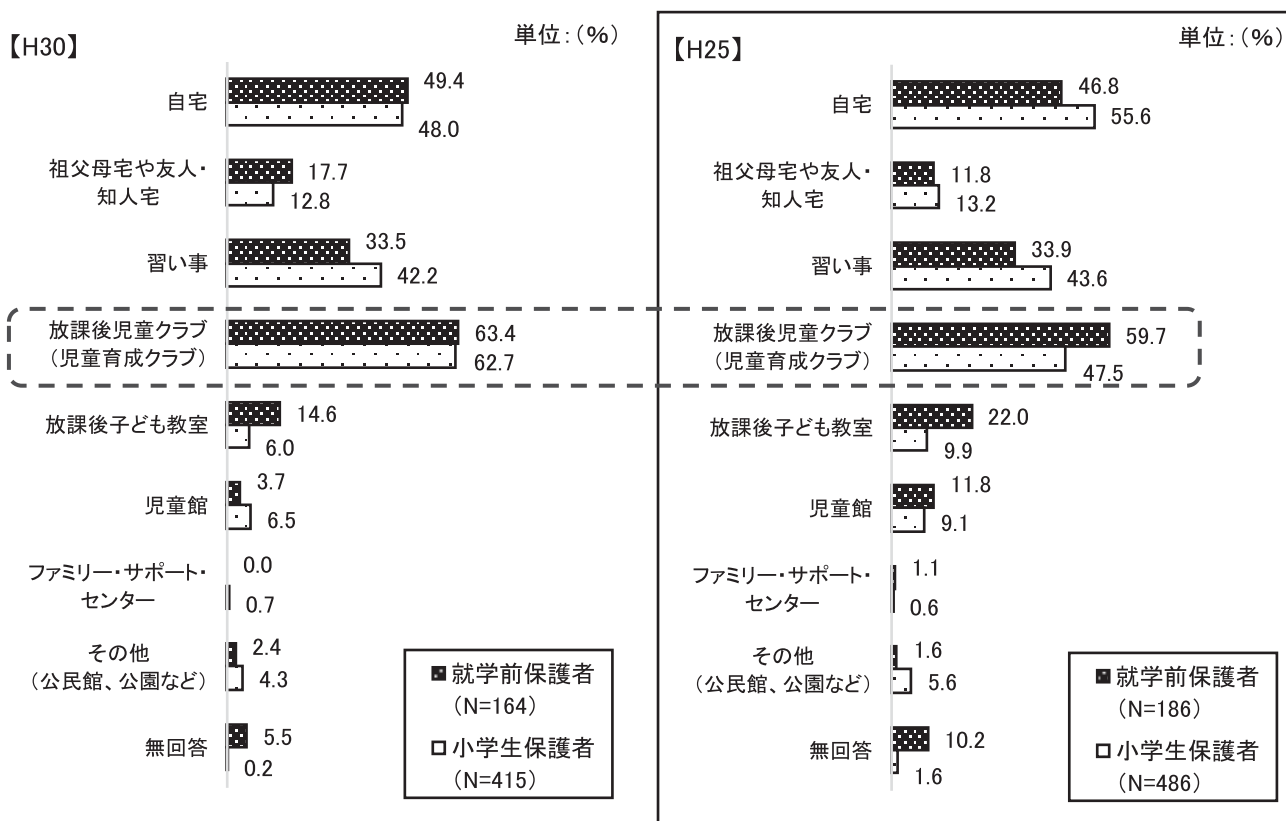
【調査結果】

●平日の放課後の過ごし方について、前回H25と比較すると、就学前保護者、小学生保護者ともに「放課後児童クラブ」の利用意向が高くなっています。特に小学生保護者の「放課後児童クラブ」の割合が前回より15.1ポイント増加しています。

【調査結果からみえてくる検討課題】

保育ニーズの高まりから、将来的な放課後児童クラブのニーズが高まる可能性があります。

■平日の放課後の過ごし方について  
（今回 H30 調査）（前回 H25 調査）※複数回答



⑫ 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望について

(就学前：問22～23、小学生：問11-1～11-2)

【調査結果】

●土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望について、特に長期休業中での利用を希望している人（低学年+高学年）が一定数みられます。また、日曜・祝日では約8割の方が「利用する必要はない」と答えています。

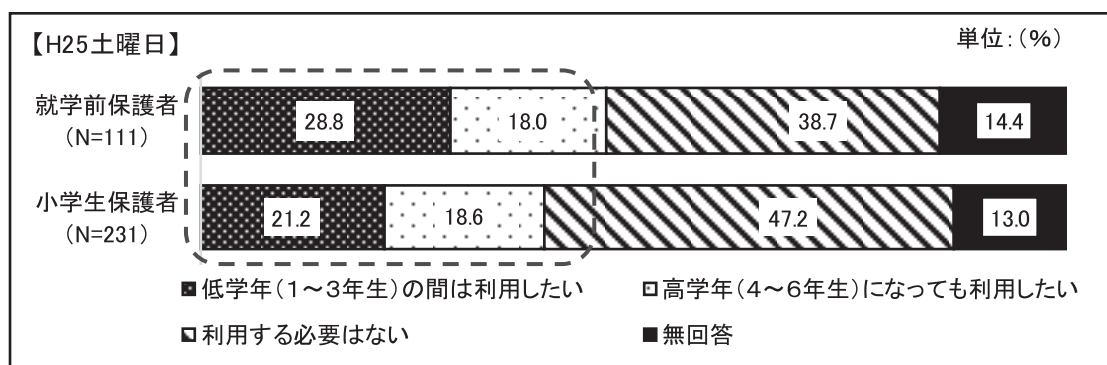
【調査結果からみえてくる検討課題】

土曜日、特に長期休業中の放課後児童クラブの利用希望に対応することができるよう、支援員等の確保を含めた体制の強化を求めする必要があります。

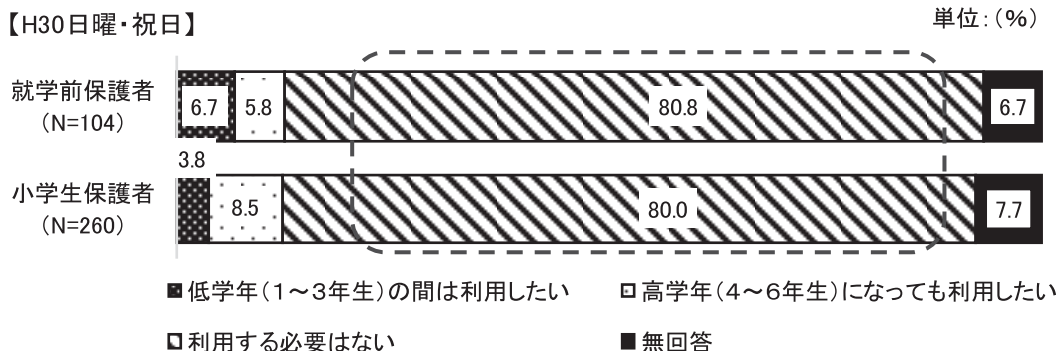
■土曜日の放課後児童クラブの利用希望について（今回 H30 調査）



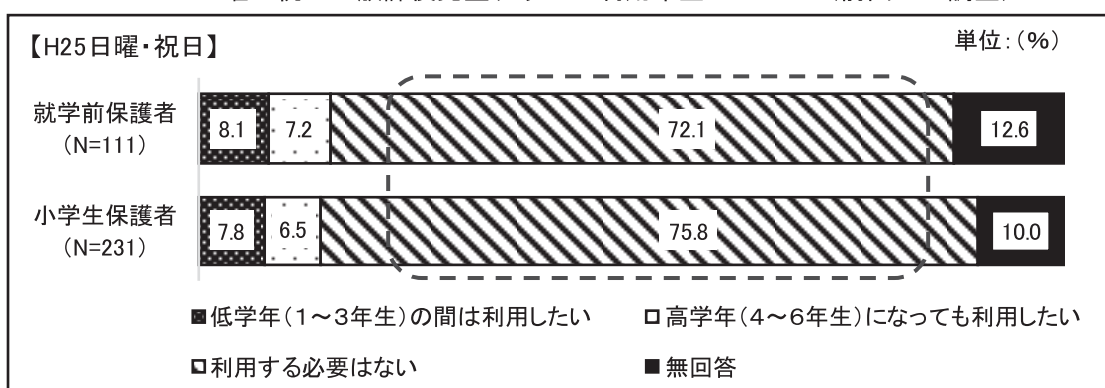
■土曜日の放課後児童クラブの利用希望について（前回 H25 調査）



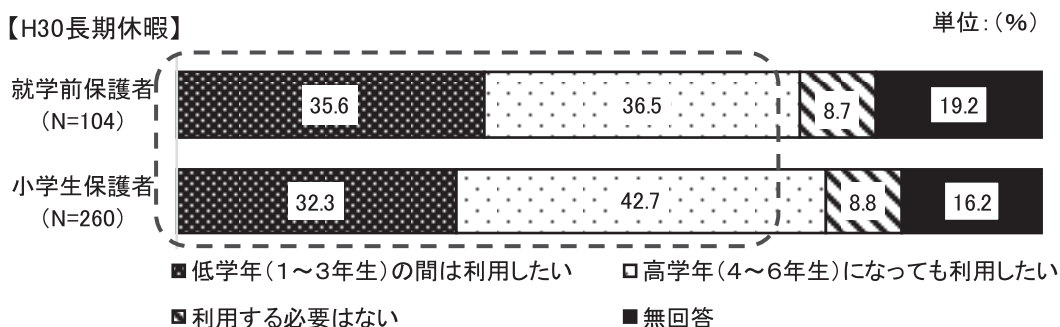
■日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について（今回 H30 調査）



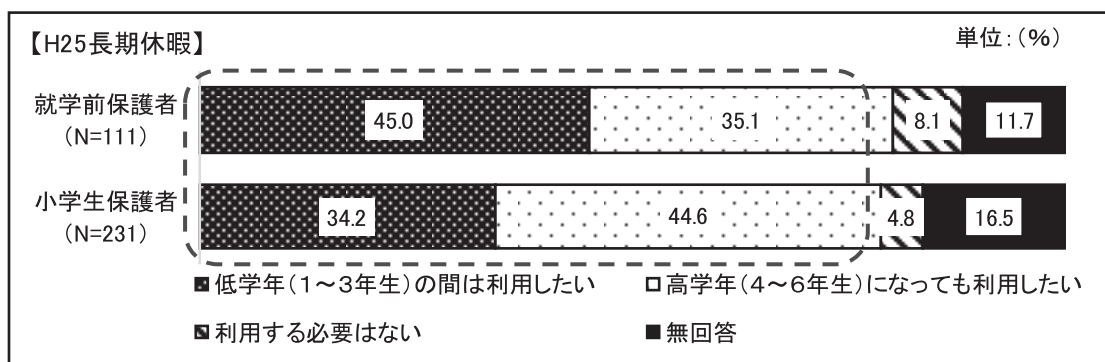
■日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について（前回 H25 調査）



■長期休業中の放課後児童クラブの利用希望について（今回 H30 調査）



■長期休業中の放課後児童クラブの利用希望について（前回 H25 調査）





■子育て満足度（子育てのしやすさ）について

⑬ お住いの地域における子育ての環境や支援への満足度について

（就学前：問28、小学生：問15）

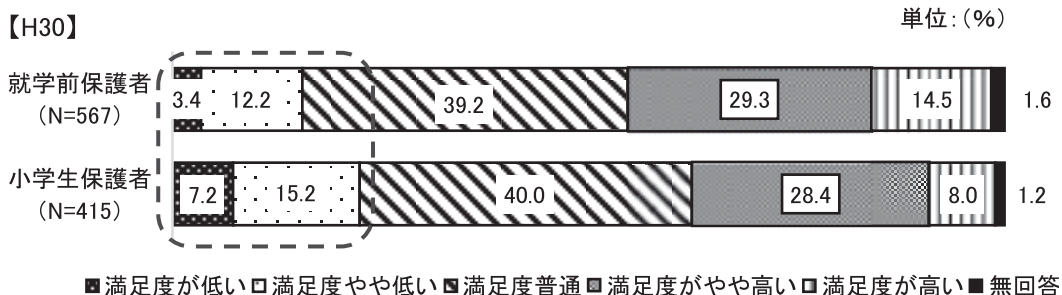
【調査結果】

●お住いの地域における子育ての環境や支援への満足度について、就学前保護者では満足度が高い（満足度がやや高い+満足度が高い）の割合が43.7%（前回25.0%）、小学生保護者では36.4%（前回17.5%）と、それぞれ前回H25よりも大きく満足度が増加しています。

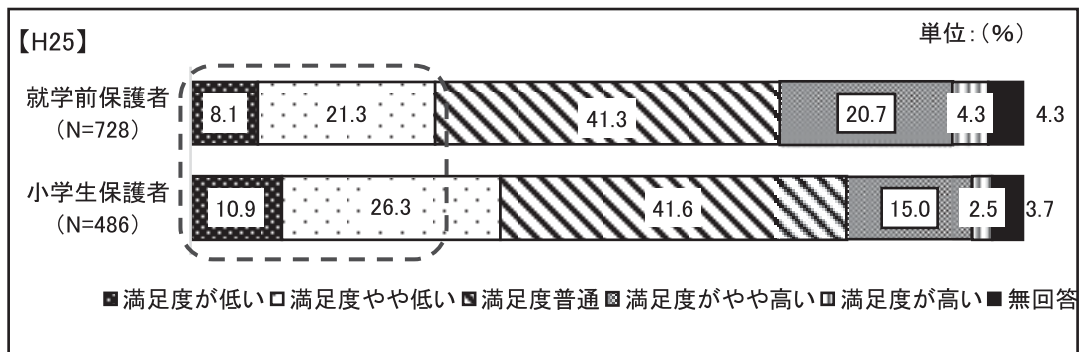
【調査結果からみえてくる検討課題】

今回 H30 の調査では満足度が低い（満足度がやや低い+満足度が低い）と回答した方が就学前保護者で 15.6%、小学生保護者では 22.4%と約 2 割の方が満足度は低いと回答しています。今後さらに結婚、妊娠、出産、育児それぞれのライフステージに応じて、切れ目のない支援をしていくことが重要と考えられます。

■お住いの地域における子育ての環境や支援への満足度（今回 H30 調査）



■お住いの地域における子育ての環境や支援への満足度（前回 H25 調査）





■国東市独自設問について

⑭満足度が低い理由は何ですか。（就学前：問29、小学生：問16）

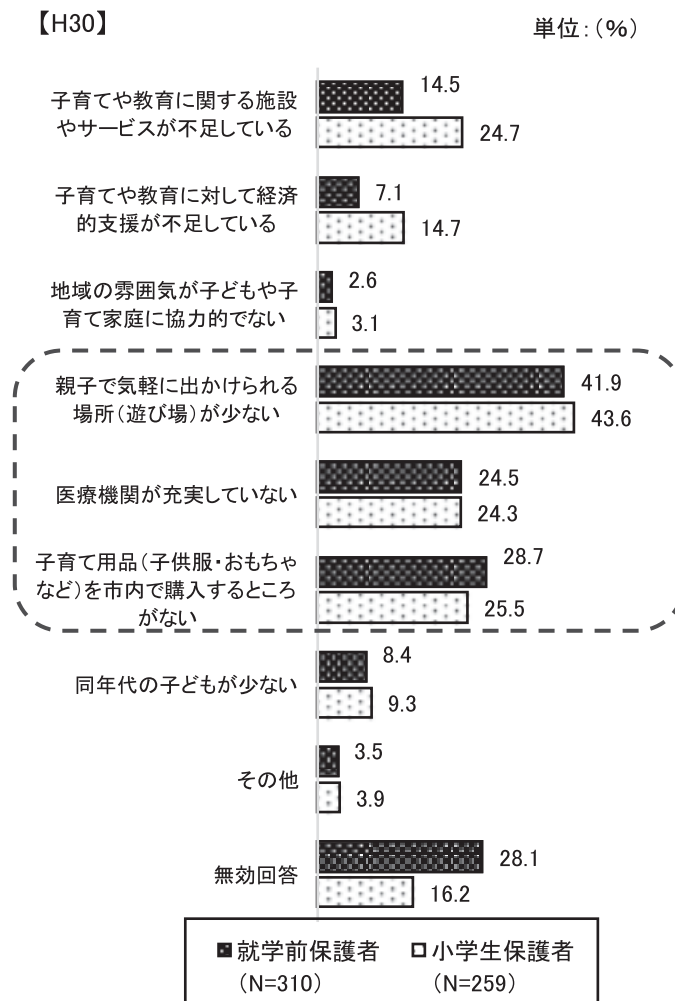
【調査結果】

●満足度が低い理由では、就学前保護者、小学生保護者ともに約4割の方が「親子で気軽に出かけられる場所（遊び場）が少ない」回答しています。

【調査結果からみえてくる検討課題】

満足度の低い理由として、「親子で気軽に出かけられる場所（遊び場）が少ない」「医療機関が充実していない」「子育て用品（子ども服・おもちゃなど）を市内で購入するところがない」といった意見の割合が高くなっており、関連施設の整備検討及び、結婚、妊娠、出産、育児それぞれのライフステージに応じて、切れ目のない支援をしていくことが重要と考えられます。

■満足度が低い理由（今回 H30 調査）



**⑮お子さんの人数について、理想と予定（現実）の差をなくすためにどのような課題を解決することが必要ですか。（就学前：問32-1、小学生：問19-1）**

**【調査結果】**

●お子さんの人数について、理想と予定（現実）の差をなくすためにどのような課題を解決することで何が必要かについて、就学前保護者、小学生保護者ともに「子育てや教育にかかる経済的支援」の割合が最も高く6割以上となっています。

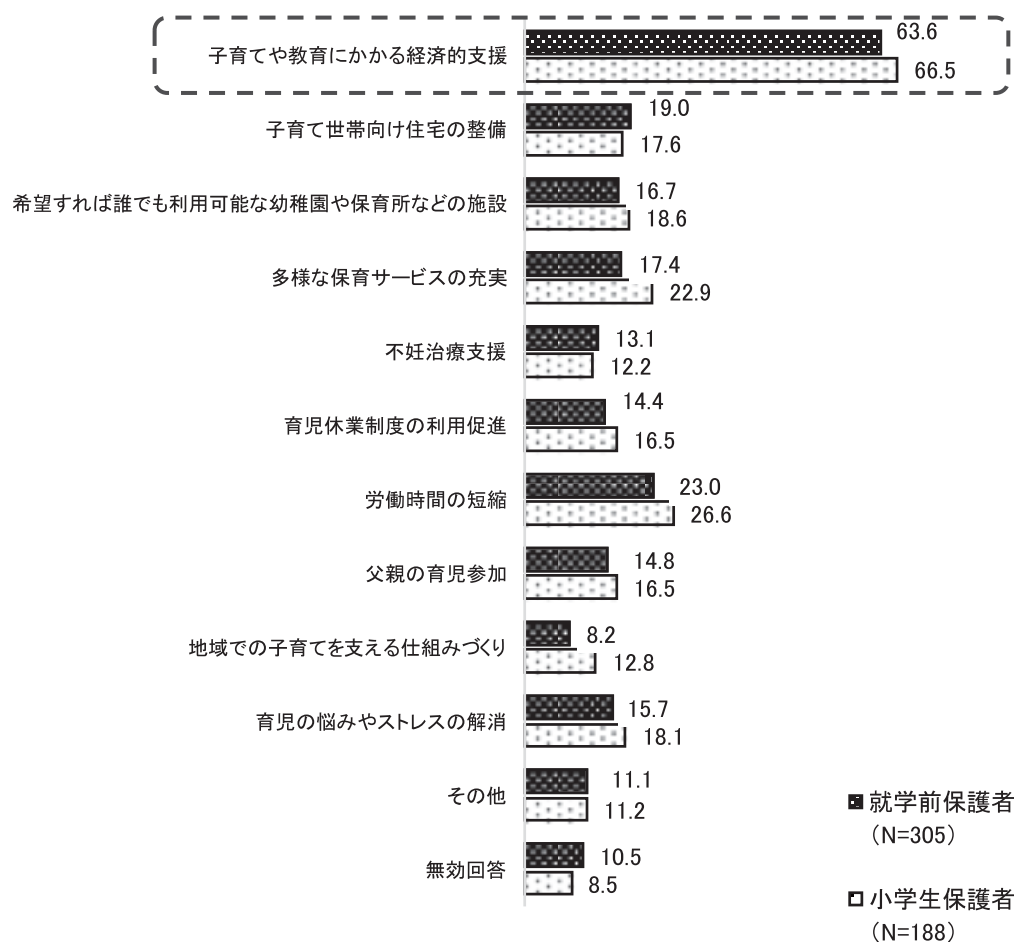
**【調査結果からみえてくる検討課題】**

理想と予定の差をなくすために解決すべき課題として「子育てや教育にかかる経済的支援」があります。経済的支援策に対する情報提供を図る必要があります。

**■理想と予定（現実）の差をなくすための解決策として（今回 H30 調査）**

**【問題解決策】**

（単位：%）



## ■自由意見について（抜粋）

### 保育園、子ども園、幼稚園についての意見内容

- ◎保育開始時間を早めてほしい。
- ◎幼稚園の存続が心配。時間延長等工夫し、幼稚園を存続させてほしい。
- ◎人数の多い保育所に子どもを預けることに抵抗を感じている人もいる。少人数の保育所も必要があると感じています。

### 学校教育全般についての意見内容

- ◎有料でも良いので高校までスクールバスがあったら助かります。
- ◎運動環境の充実。国東はそういうところがないため中学から市外に出ると思う。
- ◎国見の小学校統廃合を早急にすすめてほしい。

### 親子で一緒に過ごせる場所や公園・買い物先についての意見内容

- ◎子育て世代に対する国東市の経済的な支援はとても充実して、大変助かります。
- ◎子どもの遊び場開放事業はすごく助かっています。土曜日・祝日も開けてほしい。
- ◎小さい子の服やおもちゃを買ったり、一緒にごはんを食べられる場所がほしい。
- ◎市内に遊具のある公園がほしい。
- ◎温水プールや体育教室など、習い事のできる施設がほしい。

### 経済的負担についての意見内容

- ◎やはり一番は経済的な不安が一番あるので、保育に関わる服や道具の支援を検討してほしい。
- ◎給食費を無料にしてほしい。半額補助でもあるといいと思う。

### 子育て支援サービス等各種支援に対する利用方法についての意見内容

- ◎父親にもっと子育てに関心をもってもらいたい。
- ◎子育てサービスが色々あるのは知っているが、利用の仕方がわからない。
- ◎子どもの健診等、仕事をしている家庭のことを少し考えて日程調整をしてもらいたい。  
(月末等忙しい日を避けてほしい)

### 放課後児童クラブの充実についての意見内容

- ◎放課後児童クラブで教育の充実を図ってほしい。
- ◎放課後児童クラブの利用料を無料にしてほしい。

#### 病児・病後児保育についての意見内容

- ◎病児・病後児保育の負担額の軽減をしてほしい。
- ◎病児保育の定員を増やしてほしい。
- ◎開始時間を7時半からに早めてほしい。

#### おおいた子育てほっとクーポンについての意見内容

- ◎子育てほっとクーポンの支援が役に立っていない。クーポンではなく現金などの補助をしてほしい。

#### ファミリー・サポート・センターについての意見内容

- ◎近くに頼る人がいなくてファミサポに入ったけど、普段からファミサポの会員の方と接していないので子どもを預けるのはちょっと難しい気がする。

#### 医療体制・医療全般についての意見内容

- ◎小児科の診療体制を充実させてほしい。（特に夜間や休日）
- ◎高校生まで通院の医療費補助をしてほしい。

#### 市の支援の充実以外についての主なご意見

- ◎親の就労場所が他市に比べて少ないと思う。
- ◎幼児教育・保育の無償化により、子どもを預ける家庭が増え子どもと関わる時間が減ると思う。

### 3 本市における子育て支援に関わる課題

本計画の策定にあたっては、子ども・子育て会議での意見や実態調査の結果及び第1期計画の施策進捗評価に基づき「主な7つの課題」をあげました。本計画では、これらの課題を解決するための施策を優先的に推進します。

#### 課題 1 父親の子育てへの参画

本市での実態調査では、子育てを主にしている人は「父母ともに」と回答した方の割合が5割以上となっていますが、女性の就業率の増加や社会進出が増える中、今後さらに父親の子育て参画が重要になります。

<課題を解決するための推進施策↓>

■基本目標「2. 地域における子育て支援」

施策目標③「地域や企業とともに取り組む子育て環境の向上」(P57)

#### 課題 2 子育ての相談に関する相談窓口の周知

子育てに関わる相談先は子どもの成長とともに変化します。公的な専門機関（子育て世代包括支援センター等）や専門職等の周知を図るとともに、保護者が孤立することのないよう、相談しやすい環境をつくる必要があります。

<課題を解決するための推進施策↓>

■基本目標「3. 子どもの健やかな育ちを促す支援」

施策目標① 子どもと親の健康支援の充実 (P60)

施策目標② 子どもを授かることや子育てを通じた親としての成長を支える学習の場の提供 (P63)

施策目標③ 発達段階に応じた食に関する学習機会の充実 (P64)

施策目標④ 歯科保健対策の推進 (P65)

■基本目標「4. 子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援」

施策目標① 児童虐待防止 (P69)

施策目標② ひとり親家庭への支援 (P72)

施策目標③ 障がい児や特別な支援が必要な子どもの施策の充実 (P74)

施策目標④ 生活困窮者家庭への支援 (P76)

施策目標⑥ 不登校・引きこもり児童生徒に対する支援 (P78)

### 課題 3 子育て中の保護者に対する支援策の充実

女性の社会進出による共働き家庭の増加や保護者の就労形態の多様化により、子育て環境は大きく変化しています。また、教育・保育の無償化により保護者の就労意向も高まっていると感じます。

仕事と育児の両立ができるよう、子育て中の保護者に対する子育て支援策の充実に努めるとともに、子育て支援策を周知する必要があります。

<課題を解決するための推進施策↓>

#### ■基本目標「2. 地域における子育て支援」

施策目標① 多様なニーズに応じた子育て支援 (P51)

施策目標② 放課後子ども総合プランの推進 (P54)

施策目標③ 地域や企業とともに取り組む子育て環境の向上 (P57)

#### ■基本目標「3. 子どもの健やかな育ちを促す支援」

施策目標① 子どもと親の健康支援の充実 (P60)

施策目標② 子どもを授かることや子育てを通じた親としての成長を支える学習の場の提供 (P63)

施策目標③ 発達段階に応じた食に関する学習機会の充実 (P64)

施策目標④ 歯科保健対策の推進 (P65)

### 課題 4 放課後児童クラブの受け皿の拡大

国が打ち出した「放課後こどもプラン」では、地域社会全体で子どもたちを見守り、有意義な放課後生活を確保することで、その健全育成を図ることをねらいとするものです。子どもの成長にとっては、学校教育のみならず、家庭や地域で過ごす放課後生活の充実に焦点をあてた政策が求められており、本市の実態調査の結果でも、平日日中以外でも土曜日や長期休業中における「放課後児童クラブ」の利用意向は高くなっています。今後は、放課後児童クラブの指導員の確保を含めた受け皿拡大の対策が必要です。

<課題を解決するための推進施策↓>

#### ■基本目標「2. 地域における子育て支援」

施策目標② 放課後子ども総合プランの推進(P54)

## 課題 5 子どもの貧困対策

子どもの将来が、その生まれ育った家庭の事情等によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することがなく、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう、子どもの貧困対策を総合的に推進する必要があります。

<課題を解決するための推進施策↓>

### ■基本目標「4. 子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援」

施策目標② ひとり親家庭への支援(P72)

施策目標③ 障がい児や特別な支援が必要な子どもの施策の充実(P74)

施策目標④ 生活困窮者家庭への支援(P76)

## 課題 6 外国人子育て家庭への支援体制の構築

多文化な子育て環境を有する外国人子育て家庭が定住化する日本の地域社会や、保育所・幼稚園等で、安心して子育て・子育てができるための自立的支援を行う多文化子育て支援事業（例：外国人児童の在籍率の高い教育・保育施設に、専任スタッフとして外国人児童コーディネーターを配置して、子育て・教育機関及び多文化共生に関わる関係機関等と連携して、主に就学前外国人児童がいる家庭を対象にする。外国人保護者に対する日本語教室の開催。）等の検討が必要です。

<課題を解決するための推進施策↓>

### ■基本目標「4. 子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援」

施策目標③ 障がい児や特別な支援が必要な子どもの施策の充実(P74)

## 課題 7 医療的ケア児への支援体制の構築

近年の医療技術の進歩等を背景に医療的ケアを必要とする障がい児が増えていることから、本市でも医療的ケア児の実態や支援体制の構築を見直し、医療的ケア児を取り巻く課題解決に向けた協議を行う必要があります。

<課題を解決するための推進施策↓>

### ■基本目標「4. 子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援」

施策目標③ 障がい児や特別な支援が必要な子どもの施策の充実(P74)



